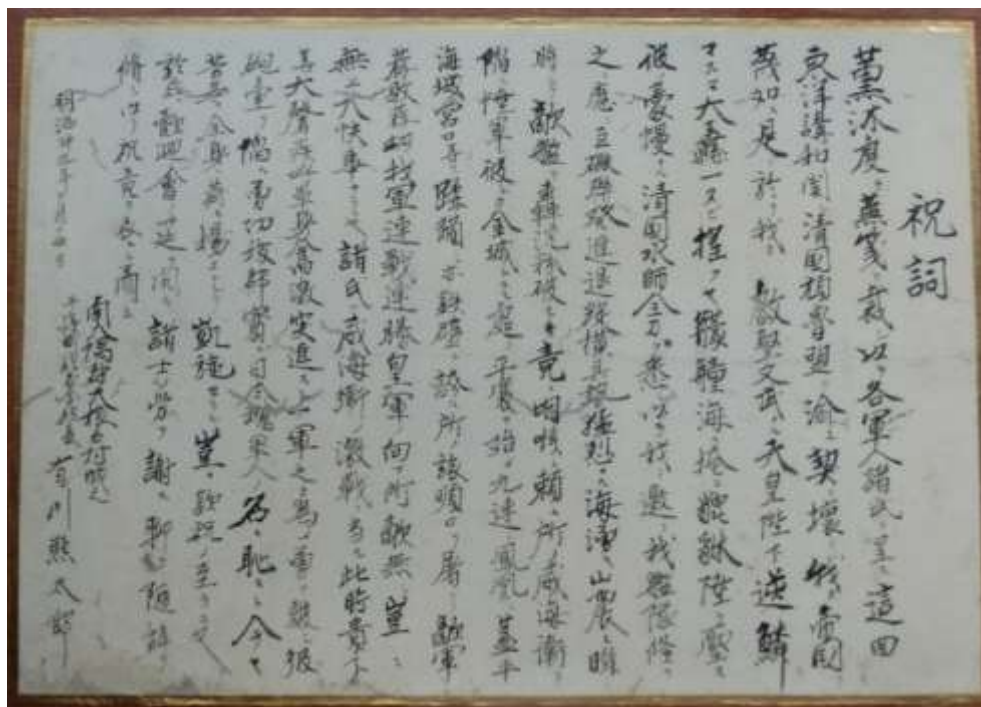


# 次に『祝詞』

日清戦争後、帰還兵をねぎらう宴が催された時、有川熊太郎氏(大根占)が述べたお祝いの文章

有川家(大根占(錦江町))資料



薰沐、虔みて蕪箋を裁し、以て各軍人諸氏に呈す。今回東洋講和に関し、清国頑魯・盟を渝へ、契を懐り、我が帝国を蔑如す。是に於て我が叡堅文武なる天皇陛下、逆鱗ます々大燾一たび揺くや朦朧海を掩ひ、貔貅陸を壓す。

彼の豪慢なる清国出師全力を悉し、以て我に邀ふ。我が艦隊倏ち之に應じ巨礮聯発、進退縦横、其勢猛烈なる、海湧き山震ひ瞬時にして敵艦を轟沈粉破せしめ、竟に咽喉と頼む所の威海衛を陥る。陸軍は彼が金城とする處の平壤を始め九連に鳳凰に蓋平海城、營口等を蹂躪し、亦鉄壁と誇る所の旅順口を屠り、敵軍荐敗荐衄、我が軍連戦連勝、皇軍の向ふ所敵無し。豈に無上大快事ならずや。諸氏は威海衛の激戦に当る。此の時、貴下等大聲疾呼、單身奮激、突進すと。一軍、之が爲め、勇を鼓し彼の砲台を陥る。勇功拔郡、実に日本魂、軍人の名に恥ずと。今や芳名を全身に荷ひ揚々として凱旋せらる。豈に欽祝の至ならずや。

# 戯画

## 日清戦争後新店舗開 店の際の祝い旗？

【戯画と讃】  
(フランス帰り)

